

## レーザー分野指導医準備委員会

委員長：河野 太郎

担当理事：武田 啓

委員：赤石 諭史、大城 貴史、中岡 啓喜、野村 正、山下 理絵

開催年月日：2019年11月15日（金）8:00～9:00

会場：仙台国際センター会議棟 3F 小会議室7

出席者（敬称略、五十音順）：赤石諭史、大城貴史、河野太郎、武田啓、中岡啓喜、野村正

欠席者（敬称略、五十音順）：山下理絵

### 活動の内容：

#### 1. レーザー分野指導医準備工程

- ・2020年2月理事会提出、2020年4月承認、2020年基礎学術集会から開始することは日程的に可能であり、その準備をすすめることとした。

#### 2. レーザー分野指導医細則作成

- ・研修施設については、開始年度は連携施設で3年以上の研修も可能とした（暫定）。
- ・教育セミナーは、前半が安全講習（必須）、後半は講師一任とした。
- ・業績については、発表はレーザー関連に限定した。
- ・試験内容は筆記試験とした。

### 委員会後の経過と今後の予定

「2020年2月の理事会でレーザー分野指導医細則案が承認された。4月の評議員会・総会で確認、承認された後2020年度は周知の期間とし、2021年度より施行という方針となった。総会の延期があり6月の理事会において8月の評議員会、総会で了承を得て、スタートすることを再確認した。その後は、細則の最終確認、講習会準備等を予定している。」

# 特定分野指導医（レーザー分野指導医）

## レーザー分野指導医施行細則

日本形成外科学会は、日本形成外科学会特定分野指導医制度：レーザー分野指導医細則および同施行細則に基づき、レーザー分野指導医認定審査を下記の要領で実施いたします。

### 1. 分野指導医認定審査申請者の資格

- 1) 日本国の医師免許を有していること。
- 2) 日本形成外科学会認定専門医の資格を有していること。
- 3) 日本形成外科学会認定専門医を取得後、日本形成外科学会の認定施設か教育関連施設、新制度での研修基幹施設・連携施設、日本レーザー医学会指導施設・認定施設、もしくはレーザー分野指導医が常駐している施設で、2年以上の研修歴を有していること（暫定）。
- 4) 日本形成外科学会学術集会(基礎学術集会、各地区の形成外科学会学術集会および地方会も可[旧称：日本形成外科学会 支部学術集会および地方会])におけるレーザー領域に関する2回以上の発表歴(筆頭もしくは発表指導者)、あるいはレーザー領域に関する1編以上の学術論文執筆歴(筆頭もしくは筆頭指導者)を有していること。\*学術集会の発表歴には、特別講演や教育講演などの講演歴、ランチョンセミナーなど関連プログラムでの講演歴、学術集会での座長や司会歴も含まれる。\*執筆指導者(発表指導者)とは、共同執筆者(発表者)の中で最も指導的立場にいる執筆者(発表者)が該当する。
- 5) 日本形成外科学会の総会・学術集会および基礎学術集会の会期中に、日本形成外科学会が主催するレーザー分野指導医認定教育セミナーの受講歴を2回以上有していること。

2. 認定審査提出書類 日本形成外科学会特定分野指導医細則および同施行細則に基づき、以下の1)～9)の認定審査書類をご提出ください。なお、様式1～6につきましては、日本形成外科学会ホームページよりフォーマットをダウンロードして、ご使用ください。

■日本形成外科学会ホームページ

URL < <http://www.jsprs.or.jp/specialist/shorui/index.html#contents5> >

- 1) 日本形成外科学会特定分野指導医認定申請書・・・・・・・・・・・・・・・・・・(様式1)
- 2) 履歴書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(様式2)
- 3) 研修証明書 日本形成外科学会認定施設及び教育関連施設における研修・・・・・・・・(様式3)

式3-A) 日本形成外科学会認定レーザー分野指導医が常勤している施設における研修 . . . . . (様式3-B)

4) 日本形成外科学会専門医認定証 (コピー)

5) 業績目録[認定審査用] . . . . . (様式4)

6) 症例の記録 (症例記録 PPT) ※CD-R での提出 . . . . . (見本 PPT 参照)

7) 10 症例チェックリスト . . . . . (様式5)

8) レーザー治療 50 症例の一覧 . . . . . (様式6)

9) 教育セミナー受講証明書 (2 回分)

10) 認定審査料振込の領収書 (コピー)

11) チェックリスト

3. 認定審査料 10,000 円を所定の口座にお振り込み下さい。なお、既納の認定審査料は返還しません。

4. 書類提出期間

202X 年 X 月

5. 書類送付先および認定審査料振込先 認定審査提出書類は、書留またはそれに準じる方法で委員会へ送付して下さい。4 月 1 日～5 月 31 日[消印有効] 〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12 新宿ラムダックスビル 9 F 日本形成外科学会事務局 レーザー分野指導医認定委員会 ※振込みは金融機関備え付けの用紙をご使用下さい。\*通信欄に「レーザー分野指導医認定審査料として」とご記載ください。【ゆうちょ銀行から送金の場合】郵便振替口座：00140-8-51198 加入者名：日本形成外科学会 認定医認定委員会 【他の金融機関から送金】銀行名：ゆうちょ銀行 支店名：〇一九店(ゼロイチキュー店) 預金種目：当座 口座番号：0051198

6. レーザー分野指導医認定 書類審査の実施時期 202X 年 X 月末頃に実施予定です。

7. 分野指導医認定審査 試験の実施時期 筆記試験認定審査 (試験時間は 202X 年 X 月中旬頃を目途に連絡いたします) 日本形成外科学会 基礎学術集会前日に行います。

8. 認定審査の結果の発表および登録 認定審査の結果は、分野指導医認定委員会が理事長に報告し、理事会の議を経て申請者に通知します。合格者は、認定登録料 10,000 円を所定の口座にお振り込みください。認定登録料の納付を確認した後、理事長が学会の分野指導

医資格名簿に登録のうえ公示します。認定証は、追って理事長が本人に送付します。

#### 9. 申請書類記入・作成に関する注意事項

1) ダウンロードした書類に作成してください。

2) 年号の記載は西暦を用いてください。

3) 研修証明書について、研修された期間によって以下の通り、様式が異なります。(様式3-A)・・・日本形成外科学会の認定施設 or 教育関連施設の場合(様式3-B)・・・日本形成外科学会のレーザー分野指導医が常勤している施設の場合

4) 業績目録[認定審査用](様式4)に併せて、学術集会プログラム抄録集の申請者の発表(講演)が掲載されているページのコピー 論文の最初のページ(題名と執筆者が記載されている)のコピーを添付し、該当申請者名に下線を引いてください(業績については本会入会後のものとします)。

5) 症例報告(症例記録、照射症例の一覧表)を作成する際、以下の点にご留意ください。

(症例については本会入会後のものとします) ・症例報告として、見本の10症例パワーポイントを参照の上、レーザー治療症例記録10症例、レーザー治療症例の一覧表50例(様式6)を提出して下さい。制度施行細則第3章、第9条に該当する研修施設以外(年間のレーザー施行件数300以上)で行われた症例も報告できます(暫定)。

・症例記録(10例)は、術前、術後3ヶ月以上経過の写真を必要とします。照射中、照射直後の写真も可能な限り提出してください。写真はパワーポイント形式で作成し、CD-Rに保存して提出してください。※1症例1パワーポイントではなく、10症例1パワーポイントになるように保存してください。なお、原本は申請者が責任をもって保管してください。

・症例記録(10例)は、下記症例が該当します。

申請者のレーザー治療としての経歴の中で、代表的な症例を提出してください。

I群 異常メラニン系症例(太田母斑、扁平母斑、蒙古斑・異所性蒙古斑、母斑細胞母斑、老人性色素斑、黒子など)

II群 異常血管系症例(単純性血管腫、莓状血管腫、毛細血管拡張症など)

III群 その他の皮膚疾患・外傷症例(疣贅、脂漏性角化症、線維腫、外傷性刺青など)

IV群 美容系症例(脱毛、小ジワ、タルミ、瘰癧癬痕、装飾性刺青など)

V群 低レベルレーザー治療(LLLT)症例

VI群 光線力学治療症例

I～VI群の中からI群およびII群(必須)を含み3群以上を選択し、

合計10症例選択し呈示する。ただしI群およびII群については各2例以上を含むこと。

I群、II群にあつては部位と大きさを問わない。但し、保険症例を最低1例含むのが望ましい。

10. 申請書類記入上の注意 10 症例

- 1) 資格審査の対象になります。
- 2) レーザー分野指導医を取得するための試験のため、指導医を取得するための代表的な症例を提示してください。
- 3) 認められない術式の条件例 肌質改善、毛穴の改善など ※疾患によっては不合格になることがあります。
- 4) 日本レーザー医学会専門医取得者は、10 症例の提出は免除されます。

11. 申請書類記入上の注意 50 症例

- ・レーザー治療 50 症例に上記の 10 症例は含まれません。
- ・I～VI群の中から I 群および II 群（必須）を含み 3 群以上を選択してください。

12. 問い合わせ先 〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12 新宿ラムダックスビル 9F 日本形成外科学会事務局 レーザー分野指導医認定委員会 宛 E-mail: jsprs-office01@shunkosha.com お問い合わせは、E-mail にてお願いいたします。

☆特定分野指導医・専門医の条件比較(新規申請)

|          |               | 日本形成外科学会特定分野指導医   |  |   |   |
|----------|---------------|---|--|---|---|
|          |               | 皮膚腫瘍外科  | 小児形成外科   | 再建・マイクロサージャリー   | レーザー  |
| 制度開始年度   |               | 2010年度  | 2017年度   | 2019年度(予定)  | 未定  |
| 資格       |               | ・日本形成外科学会専門医  | ・日本形成外科学会専門医   | ・日本形成外科学会専門医  | ・日本形成外科学会専門医  |
| 研修       |               | 形成外科専門医取得後、<br>・形成外科学会認定施設・教育関連施設、または皮膚腫瘍外科分野指導医常勤施設で3年以上の研修  | 形成外科専門医取得後、<br>・形成外科学会認定施設・教育関連施設で3年以上の研修(暫定)  | 形成外科専門医取得後、<br>・形成外科学会認定施設・教育関連施設、新制度での研修基幹施設・連携施設、または本分野指導の常勤施設で3年以上の研修(暫定)  | 形成外科専門医取得後、<br>・形成外科学会認定施設・教育関連施設、新制度での研修基幹施設・連携施設、または日本レーザー医学会指導施設・認定施設、もしくはレーザー分野指導医が常駐している施設で、2年以上の研修歴を有していること(暫定)   |
| 業績       | 学会参加・研修会      | ・教育セミナー2回以上受講   | ・教育セミナー2回以上受講<br>※2020年度より(制度開始後3年間は不要)  | ・教育セミナー2回以上受講<br>※2022年度より(制度開始後3年間は不要)   | ・教育セミナー2回以上受講<br>※開始時期未定(案)2023年度より   |
|          | 学会発表・論文       | ・発表2回以上(筆頭もしくは指導)、または論文1編以上(筆頭もしくは指導)   | ・発表2回以上(筆頭もしくは指導)、または論文1編以上(筆頭もしくは指導)  | ・日本形成外科学会(支部会・地方会含む)、日本マイクロサージャリー学会、日本手外科学会(地方会含む)での発表2回以上(筆頭もしくは指導、座長・司会含む)または論文1編以上(筆頭もしくは指導)   | ・日本形成外科学会(支部会・地方会含む)、日本マイクロサージャリー学会、日本手外科学会(地方会含む)でのレーザー領域に関する発表2回以上(筆頭もしくは指導、座長・司会含む)または論文1編以上(筆頭もしくは指導)   |
| 症例       | 手術記録(病歴・画像など) | 10症例(執刀、指導、助手)<br>a) 植皮<br>b) 局所皮弁/有茎皮弁<br>c) その他(神経・血管剥離、遊離皮弁、リンパ節生検、郭清など)<br>・ aとbで5例以上<br>・ 悪性腫瘍5例以上<br>・ 同一部位、同一腫瘍は2例まで | 10症例(執刀、指導)<br>a) 頭蓋の先天異常・変形<br>b) 口唇裂・口蓋裂<br>c) 顔面・頭部・耳介の先天異常・変形<br>d) 手足の先天異常・変形<br>e) 軀幹の先天異常・変形<br>f) その他の先天異常・変形<br>g) 母斑、脈管奇形、腫瘍<br>h) 癬痕、癬痕拘縮、ケロイド<br>i) 外傷、その他<br>・ 9領域中3領域以上(各領域5例まで)<br>・ レーザー不可 | 10症例(執刀、指導)<br>a) 頭頸部(頭蓋顎顔面含む)<br>b) 乳房<br>c) 体幹部(乳房以外)<br>d) 四肢(再接着含む)<br>e) その他のマイクロサージャリー(リンパ管・神経など)<br>・ 血管柄付き遊離組織移植 5例以上<br>・ 5領域中2領域以上(各領域8例まで)<br>・ 植皮術、乳房の脂肪注入や刺青、他のマイナー例は除外<br>・ 術後経過観察6ヶ月 | 10症例<br>I群 異常メラニン系症例(太田母斑、扁平母斑、蒙古斑・異所性蒙古斑、母斑細胞母斑、老人性色素斑、黒子など)<br>II群 異常血管系症例(単純性血管腫、莓状血管腫、毛細血管拡張症など)<br>III群 その他の皮膚疾患・外傷症例(疣贅、脂漏性角化症、線維腫、外傷性刺青など)<br>IV群 美容系症例(脱毛、小ジワ、タルミ、瘡瘻痕、装飾性刺青など)<br>V群 低レベルレーザー治療(LLLT)症例<br>VI群 光線化学治療症例<br>・ I～VI群の中からI群およびII群(必須)を含み3群以上を選択<br>・ I群およびII群については各2例以上を含むこと<br>・ I群、II群にあつては部位と大きさを問わない。但し、保険症例を最低1例含むのが望ましい<br>・ 認められない術式の条件例 肌質改善、毛穴の改善など |
|          | 手術一覧(リスト)     | 100症例<br>・ 上記10例は含めず  | 100症例(経験症例)<br>・ 上記10例を含めても可<br>・ 9領域中3領域以上(各領域50例まで)<br>・ レーザー10例まで   | 50症例(経験症例)<br>・ 上記10例は含めず<br>・ 5領域中3領域以上<br>・ 植皮術、乳房の脂肪注入や刺青、他のマイナー例は除外   | 50症例(経験症例)<br>・ 上記10例は含めず<br>・ I～VI群の中からI群およびII群(必須)を含み3群以上を選択<br>・ 制度施行細則第3章、第9条に該当する研修施設以外(年間のレーザー施行件数300以上)で行われた症例も報告できる   |
| セミナー日程   |               | 総会と基礎学会(年2回)  | 総会と基礎学会(年2回)   | 2019年基礎学会から開始   | 未定(案)2020年度基礎学会から開始   |
| 審査日程     |               | 書類提出: 4/1～5/31<br>審査時期: 8月末   | 書類提出: 9/15～10/31<br>審査時期: 12月末   | 2019年11月  | 未定(案)2020年11月ころ   |
| 試験内容(日程) |               | 口頭試問(10～11月、基礎学会時)  | 筆記試験(1～2月、手術手技学会時)   | 口頭試問(2019年マイクロサージャリー学会前)  | 未定(案)筆記試験で2020年11月ころ  |

☆特定分野指導医・専門医の条件比較(更新申請)  
更新条件比較

|          | 日本形成外科学会特定分野指導医   |                                       |                     |
|----------|---|---------------------------------------|---------------------|
|          | 皮膚腫瘍外科  | 小児形成外科                                | 再建・マイクロサージャリー       |
| 更新開始年度   | 2015年度  | 2022年度(予定)                            | 2024年度(予定)          |
| 対象       | ・ 分野指導医資格取得(更新)から5年後<br>(更新日は翌年の4月1日)   | ・ 分野指導医資格取得(更新)から5年後<br>(更新日は翌年の4月1日) | ※分野指導医資格取得(更新)から5年後 |
| 更新に必要な条件 | 業績目録(総計20点)<br>診療実績報告書(65歳以上は免除)  | (未発表)                                 | ※他分野に準じる?           |
| 認められる業績  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本形成外科学会学術集会(春・秋)参加(4点)</li> <li>・ // での「皮膚腫瘍外科」シンポジウムへの参加・座長・司会(4点)</li> <li>・ // における皮膚腫瘍外科領域に関する講演・発表(筆頭)(4点)</li> <li>・ // における皮膚腫瘍外科領域に関する座長・司会(2点)</li> <li>・ 皮膚腫瘍外科分野指導医認定教育セミナー受講・講師(2点)</li> <li>・ 各地区の形成外科学会学術集会および地方会への参加(2点)</li> <li>・ // における皮膚腫瘍外科領域に関する講演・発表(筆頭)(2点)</li> <li>・ 日本皮膚悪性腫瘍学会参加(4点)</li> <li>・ // 学術大会における講演・発表(筆頭)(4点)</li> <li>・ // における座長・司会(2点)</li> <li>・ 皮膚腫瘍外科領域に関連する国際学会参加(2点)</li> <li>・ //</li> <li>・ 国際学会発表(筆頭)(4点)</li> <li>・ //</li> </ul> | (未発表)                                 | ※他分野に準じる?           |
| 審査日程     | 書類提出: 4/1~6/30<br>審査時期: 8月末   | (未発表)                                 | ※他の分野と重ならない時期?      |

※: 検討事項

## ☆特定分野指導医・教育セミナー要件比較☆

|          | 日本形成外科学会特定分野指導医   |   |   |                    |
|----------|---|---|---|--------------------|
|          | 皮膚腫瘍外科  | 小児形成外科  | 再建・マイクロサージャリー   | レーザー               |
| 制度開始年度   | 2010年度  | 2017年度  | 2019年度(予定)  | 未定                 |
| 資格       | ・日本形成外科学会専門医  | ・日本形成外科学会専門医  | ・日本形成外科学会専門医  | ・日本形成外科学会専門医       |
| セミナー日程   | 総会と基礎学会(年2回)<br>開催は毎回学会2日目or最終日の早朝(8:00~9:00)                   | 総会と基礎学会(年2回予定)<br>*参加者の動向を確認しながら年の開催回数を検討することが委員会にて検討された<br><br>本年の基礎学術集会では1日目昼過ぎ(14:40~15:40)開催(セミナーの単独開催は初) | 総会と基礎学会(年2回予定)<br><br>本年の基礎学術集会では2日目昼(13:30~14:30)開催(初開催) | 総会と基礎学会(年2回予定)     |
| 参加費      | 10,000円<br>*軽食付き  | 10,000円?<br>*8月24日委員会時に要検討<br>→当面は他に併せて一万円で   | 10,000円(予定)<br>*委員長確認済み                                   | 未定                 |
| 申込み方法    | 1)現金書留による申込書との同封<br>2)会員カードによりマイページ申込み                          | 皮膚腫瘍外科分野指導医に準拠予定  | 皮膚腫瘍外科分野指導医に準拠予定  | 皮膚腫瘍外科分野指導医に準拠予定   |
| 講師謝金     | 1講師あたり20,000~30,000円(学会より支払い、開催地近郊講師は2万)<br>*ただしお渡しは学術集会運営事務局より | 皮膚腫瘍外科分野指導医に準拠予定  | 皮膚腫瘍外科分野指導医に準拠予定  | 未定                 |
| セミナーレジュメ | 1か月以上前に学会事務局より依頼、作成し、受付にて当日手渡し                                  | 8月24日委員会時に検討予定<br>→レジュメは皮膚に倣って作成  | 作成予定なし  | レーザー医療安全教育は必須とする予定 |
| 受講証      | 発行、現金申込者は紙の受講証、Web申し込み者は画面での確認が可能                               | 発行予定  | 発行予定  | 発行予定               |
| 司会       | 委員長   | 未定  | 委員  | 未定                 |

- \*セミナー日程は皮膚は固定化されているが、小児や再建はまだ未定状態。今後委員長が枠を会長に依頼する際として目安として設定必要?
- \*参加費は10,000円だと黒字。もともと1万設定では学術講習会と比べ同じ料金であるため開催時間を比較しても短いことから軽食をつけての値段設定となった経緯がある。事務局にて概算見積もりを行って、費用を値下げの場合は8000円で収支相償、7000円だと赤字ということが判明
- \*セミナー受講料、申し込み方法、受講証の発行は足並みをそろえる必要があるがその他は各委員会に一任でよいのか?